

合併か単独か 大崎町の選択肢は

改善しながら進める



長重 充輝 議員

町長は、選挙公約として合併は推進すると公言している。議会も2回、志布志市との合併推進を決議した。それらを踏まえ最後の選択肢をどう考えるか。

改善しながら

前に進める

町長 現在足踏み状態であるが、今後も改善しながら前に進めていきたい。

改善とは

具体的に示せ

長重議員

改善しながら前に進めるのとことであるが、改善とはどのようなことか。

より良い方向で

町長

合併について合意形成を図ることをお願いしてきた。今回の特別委員会の結果を受けて文書での合併申入れが難しい状況になってきた。このようなどが理解されて、より良い方向で進むことができるかという意味合いである。

なぜ対等なのか

長重議員

町長は、合併の方向性を対等合併から編入合併に変えた。合併を推進している時に、もう少し勉強していれば、市と町が一緒になるような場合、例を見ても「対等」という言葉は出てこなかったと思う。

私の強い気持ち

町長

指摘のとおりであるが、志布志市長と協議させていただく中で、庁舎位置、名称など変えることのできないものは認識していたが、各種の協議等については対等の立場でお願いできないだろう

まちづくりの施策は

長重議員

今後、町民が安心・安全に暮らせるまちづくりをするために、何らかの施策を考え合併の推進をしたと思うが、どうであったか。

広域的な合併は

必要である

町長

公約の背景には、多くの町民が志布志市との合併を望んでいることを理解し、民意を生かして合併する方向を掲げた。住民サービスの向上、これからの次代を担う子供たちのため、広域的な合併は必要であると判断した。

再度文書申入れの考えは

長重議員

特別委員会での志布志市への文書提出は突如として議題が上がってきた。文書での申入れはしないと結論は出たが、大崎町を左右する大きな問題である。町長が連記、連名で文書を出そうという強い意思があれば、もう一度議長宛にこのことをお願いする考えはないか。

文書での申入れは必要

町長

今、判断はできないが、文書での申入れの必要性は変わらない。时期的なものも考慮し、議会の意見も伺いながら検討したい。

公金の徴収体制

一元化で

長重議員

町政運営を支える町税

等に滞納が発生し、深刻な問題である。納期限までに納付している人と一部の滞納者との間に不公平が生じている。

税の滞納一掃に集中的に取り組むため、滞納整理班を設置し、徴収業務を一元化することにより、徴収率向上が期待できると思うがどうか。

滞納には厳しく対処

町長

町税は、町運営の根幹をなすものであり、税の徴収は極めて大切なことである。過年度分については、一元化して徴収体制も必要と考える。専門部署を設置し徴収率向上に、前向きに取り組む。